

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 安城市立里町小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒446-0001
愛知県安城市里町足取1番地5

E-mail : satomachi@anjo.ed.jp

Website : <http://www.anjo.ed.jp/~satomachi/>

児童生徒数：男子 310名 女子 310名 合計 620名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（福祉教育)

4. 活動内容

- (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。
 ※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

◎総合的な学習の時間や生活科の学習で体験的な活動を重視して授業展開をしている。自ら気づき、課題を作り、追究して、その結果を地域に発信する力を育てていこうとしている。その発信する場として、「里小まつり」を位置づけている。里小まつりでは各学級、発表コーナーを複数作っている。表にまとめた内容を発表したり、クイズを出したり、体験の場を設けたり、劇にしたりと工夫している。時間を前半・後半に分け、一方の時間は発表、もう一方の時間は見て回る時間になっている。今年度は発表の仕方について振り返りカードにて反省をした。具体的には各学年、テーマに沿って以下のような活動をした。

◎6年生：「私たちと世界のつながり」

青年海外協力隊の方の講話を聞いた。自分とは違う暮らしを知り、様々な多様性があることに気づいた。子どもたちは関心をもった国について調べ、負のスパイラルを解消するために自分たちにできることを考えた。里小まつりではフェアトレードや募金の紹介をしたり、ガーナのバケツ運び体験コーナーを設けたりして学習してきたことを発表した。その後1週間、ユニセフ募金にも協力したり、文房具を集めたりと各学級をまわり呼びかけをした。

◎5年生：「米から考える私たちの食生活」

身近に食べているお米に関心をもった後、田植えをした。その後、米について、栄養、安全、食料自給率などの観点から課題を見つけて、調べていった。10月には農家の方を招き米作りの現状と問題点について話を聞いた。日本と世界の米料理を調べるために、スペイン料理店のパエリアを試食した。フィリピン料理も試食した。里小まつりではお米の秘密をもっと知ってもらおうと、玄米と白米の違いや米のもつ栄養、農業従事者が減少している現状についてなど、米に関わる食生活の問題点を発表した。

◎4年生：「環境戦隊里レンジャー」

社会科の学習と関連させて、ごみの実態やくらしの中の水についての学習に取り組んだ。次第に子どもたちは、環境への意識を深めていった。1学期には猿渡川の水質検査、夏休みから2学期にかけて、グリーンカーテンの観察をしたり、生活の中で自分にできることを調べたり実践したりした。3学期に行った里小まつりでは、学級ごとに、環境問題、ごみの分別、生活の中の水、リサイクル、エコクッキングなどについて発表した。

◎3年生：「里町大好き ～みんなにやさしい町 安城～」

1学期は社会科と総合的な学習の時間を関連づけ、学区にある不乗森神社を訪ね、ふるさとの良さを学んだ。2学期には福祉教室で、点字や手話、高齢者の生活について学んだ。さらに、自分たちの住む里町にも、人にやさしい施設や設備があることを学んだ。里小まつりでは、点字や手話を紹介したり、高齢者疑似体験を通して高齢者の気持ちを考えたりして、福祉体験教室で学んだことを発表した。

◎2年生：「町探検」

初めに全体で通学路コース別に学区を見学した。見学の中で気づいたことを

発表し合い、関心をもった建物やお店をしぼった。次に興味をもった場所に班ごとに見学に行き、インタビューした。見学したことをまとめ、里小まつりでそれぞれの場所の秘密をクイズ形式で発表した。

◎ 1年生：「野菜大好き」

1学期にはアサガオ以外に、トウモロコシ・オクラ・キュウリ・ナスなどを、2学期には大根・ニンジンなどを栽培した。収穫したトウモロコシはとったその日にゆでて食べ、大根はおでんにして給食の時間に味わった。

里小まつりでは、収穫後に採っておいた種を使い、クイズを出したり、種運びをしたりした。

以上のような活動から、ESDがめざしているコミュニケーションを行う力、進んで参加する態度を向上できた。5・6年生は世界の文化・実情など視野を広げることができた。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。 ※公表しません

- 紙媒体の参考資料 (新聞、出版物など)
- CD-ROM
- 写真
- その他 ()



(1年: トウモロコシの収穫)



(2年: 町探検~牧場の見学)



(3年: 高齢者疑似体験)



(4年: 猿渡川水質検査)



(5年: 田植え)



(5年: 世界の米料理を味わおう)





(6年：フェアトレード紹介)

